

年間授業計画

第四商業 高等学校（1 学年用）

教科： 商業

科目：簿記

単位数： 4 単位

◆対象学年組：第 1 学年 A 組～E 組

◆使用教科書（ 高校簿記（実教出版）

◆教科： 商業 の目標：

【知識及び技能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として化学的な根拠に基づいて創造的に課題に適應する力を養う。	企業会計原則に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>第1編 簿記の基礎</p> <p>第1章 簿記の基礎</p> <p>第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表</p> <p>第3章 収益・費用と損益計算書</p> <p>第4章 取引と勘定</p> <p>第5章 仕訳と転記</p> <p>第7章 試算表</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p> <p>第1編 簿記の基礎</p> <p>第1章 簿記の基礎</p> <p>第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表</p> <p>第3章 収益・費用と損益計算書</p> <p>第4章 取引と勘定</p> <p>第5章 仕訳と転記</p> <p>第7章 試算表</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>第2編 取引の記帳（その1）</p> <p>第10章 現金・預金などの取引</p> <p>第11章 商品売買の取引</p> <p>第12章 掛け取引</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p> <p>第2編 取引の記帳（その1）</p> <p>第10章 現金・預金などの取引</p> <p>第11章 商品売買の取引</p> <p>第12章 掛け取引</p>	○	○	○	25
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>第1編 簿記の基礎</p> <p>第6章 仕訳帳と総勘定元帳</p> <p>第11章 商品売買の取引</p> <p>第2編 取引の記帳（その1）</p> <p>第13章 その他の債権・債務の取引（その1）</p> <p>第14章 固定資産の取引</p> <p>第15章 販売費と一般管理費の取引</p> <p>第4編 記帳の効率化と会計帳簿</p> <p>第20章 伝票の利用</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p> <p>第1編 簿記の基礎</p> <p>第6章 仕訳帳と総勘定元帳</p> <p>第11章 商品売買の取引</p> <p>第2編 取引の記帳（その1）</p> <p>第13章 その他の債権・債務の取引（その1）</p> <p>第14章 固定資産の取引</p> <p>第15章 販売費と一般管理費の取引</p> <p>第4編 記帳の効率化と会計帳簿</p> <p>第20章 伝票の利用</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>第3編 決算（その1）</p> <p>第16章 決算整理（その1）</p> <p>第17章 8桁精算表</p> <p>第18章 帳簿決算</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p> <p>第3編 決算（その1）</p> <p>第16章 決算整理（その1）</p> <p>第17章 8桁精算表</p> <p>第18章 帳簿決算</p>	○	○	○	25
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>全商簿記実務検定試験3級の受験を通じて、これまでの学習した内容を復習し、活用する力をつける。</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p> <p>全商簿記実務検定試験3級の受験を通じて、これまでの学習した内容を復習し、活用することができる。</p>	○	○	○	20
	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶ</p> <p>第6編決算</p> <p>第28章決算整理(その2)</p>	<p>・各項目における基礎的な知識や仕組みを理解させる</p> <p>・各項目における記帳法や計算方法を理解させる。</p> <p>・各項目の学習において、正確性、迅速性を高めさせる。</p> <p>・ICT機器の活用</p> <p>・生徒端末の活用</p> <p>・問題集の反復練習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を習得できる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>各項目についての基礎的な知識を活用できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各項目の学習において創造的に学ぶことができる</p>	○	○	○	15
	定期考査	・指導事項・教材等		○	○	○	1
							合計
							140